

当院は、2015年6月1日に心臓リハビリテーションを開設し1年が経過しました。

この間、多職種協働での包括的心臓リハビリテーション実現のため、立ち上げから運営、現場業務に至るまで多職種間でさまざまな取り組みを行ってきました。

今回、第22回日本心臓リハビリテーション学会にて、「当院における心臓リハビリテーション開設について～多職種連携を中心に～」と題して、内藤貴之医師と須藤竜生理学療法士とともに参加し、発表してきました。

質の高い心臓リハビリテーションを実践するためには、互いの職種が専門領域のみならず、心臓リハビリテーション全体のことを理解し合うことが重要です。

当院では、医師・理学療法士・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師がカンファレンスや運営会議を通して、職種間の連携を密にしてきました。

特に、心臓リハビリテーションカンファレンスを通して、顔を合わせ、討議することにより、医師・理学療法士・薬剤師・管理栄養士の関わり方は飛躍的に向上し、心臓リハビリテーション実施件数が増加したことや、治療方針もよりいい方向へ変更することも可能となってきております。

今回、発表したことにより、私たちが行ってきたことの振り返りでき、さらなる多職種連携向上に向け、今後やらなければならないことがより明確になりました。

今後も、地域の方々の健康を守るための一助となれるよう、積極的に学会発表を行っていき、質の高い人材育成をしていきたいと思っております。

理学療法士 心臓リハビリテーション指導士 櫻田雄大



